

2019 年度事業報告

自:2019 年 4 月 1 日
至:2020 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

1 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2019年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

役員		職員	
理事長(非常勤)	1	事務局長(派遣職員)	1
常務理事	0	総務課	2
理事(非常勤)	8	総務課(派遣職員)	1
監事(非常勤)	2	総務課(嘱託職員)	1
		総務課(臨時職員)	1
		外国人相談員(非常勤嘱託職員)	4
		印紙証紙売りさばき所(臨時職員)	3
計	11		13

(2) 評議員会

第1回評議員会(2019年6月12日)

- (イ) 平成30(2018)年度事業報告及び計算書類について承認
- (ロ) 評議員の選任について承認
- (ハ) 2019年度事業計画及び収支予算について報告
- (ニ) 平成30年度内部事業評価について報告
- (ホ) 常務理事不在の件について報告

(3) 理事会

第1回理事会(2019年5月28日)

- (イ) 平成30(2018)年度事業報告及び計算書類について承認
- (ロ) 2019年度補正予算の承認
- (ハ) 評議員会招集について承認
- (ニ) 平成30年度内部事業評価について報告
- (ホ) 常務理事の不在の件について報告

第2回理事会(2019年10月1日)

- (イ) 2019年度の進捗状況及び課題について協議
- (ロ) 2020年度事業計画策定に向けて協議
- (ハ) 理事長による職務執行状況の報告

第3回理事会(2020年3月4日)

- (イ) 2019年度補正予算書について承認
- (ロ) 2020年度事業計画及び収支予算書について承認
- (ハ) 借入金最高限度額の承認について承認
- (ニ) 理事長による職務執行状況について報告

平成 31 (2019) 年度事業計画

つくば市国際交流協会は、平成 25 年 (2013 年) 2 月に一般財団法人として設立され、同年 4 月から業務を開始し 6 年が経過しようとしています。

平成 30 年 (2018 年) 9 月 1 日現在、つくば市には 136 か国 9, 132 名の外国人が居住しており、近年はベトナム、フィリピン、インド国籍者数が増えています。

平成 30 年度、つくば市国際交流協会 (協会) では、協会活動をより広範囲へ周知するため、機関誌 Link 第 8 号及び第 9 号 (3 月発行予定) の発行を行ったほか、ホームページや facebook にて、事業紹介を積極的に行いました。また、ホームページのリニューアルに着手致しました。平成 31 (2019) 年度は、当協会の知名度をより一層上げ、参加者及び協賛企業の獲得に力を入れます

平成 29 年度に当協会の「中期運営計画」を作成しました。平成 30 年度からは計画に沿って目標を達成するための活動を行っています。

平成 30 年度は調査を中心に活動しましたので、平成 31 (2019) 年度は次のステップとして計画及び活動に入ります。

外国に繋がる小中学校の児童生徒及び保護者に対して高校進学相談会を開催したところ、将来に向けて日本語指導が必要だという意見があり、関係部署と連携しながら小中学校の長期休みに合わせて「こども日本語勉強会」を開催しました。更に、関東各地で外国人児童生徒の支援を行っている団体との交流の中で、つくばにも共通する様々な類似の事例や課題が多いこともわかりました。これらの結果からも、外国人への支援の方法を様々な視点から考え、連携、実施していく必要があります。

平成 31 年度 (2019 年度) は、「つくば市グローバル化基本指針」及び 5 年間の活動を踏まえ一部事業見直し、下記 4 点を重点目標として取り組みます。

1 外国人への生活支援の充実

病院やクリニックなど医療機関において、外国人患者が安心して母語で受診できるようにすることは、日常生活において欠かすことのできないものです。中核病院だけでなく医師会などを通じて、地域の医院・クリニックなどに対して医療通訳ボランティア派遣制度を引き続き周知するとともに、ボランティアの通訳レベルの向上、対応言語の充実についても検討して参ります。

- ① 平成 31 年度からは、医療通訳ボランティア派遣に関する協定を締結した病院のみへの派遣に変更になります。今後は、更に多くの病院との協定締結を目指し、引き続き新たな病院との話し合いを開始できるよう取り組みます。
- ② 患者は周辺市町村から市内病院で受診するなど市町村を越えて移動するため、つくば市役所及び近隣市町村国際担当部局並びに同国際交流協会と連携できるよう検討して参ります。

2 日本語学習機会の充実に取り組みます。

外国につながる方々が日本で支障なく生活できるように日本語を習得することは重要です。その中でも小中学生に対する日本語教育は、生活のためだけでなく学習面における日本語も学ぶ必要がありますが、指導者が不足しているため、筑波学院大学と共催し、指導者の育成・研修事業を行います。更に、つくば市教育局との連携の

と、市内数か所において「こども日本語勉強会」を引き続き開催し、児童生徒の日本語学習機会を拡充します。

日本の学校制度、特に高校進学は外国人家庭にとってわかりにくいことも多く、早くから制度や費用、学校生活などについて知り、準備する必要があるため、高校進学ガイダンスを昨年に引き続き取り組みます。また、関東圏内の支援団体とも連携してつくばの活動に生かします。

3 市民における国際感覚の涵養に取り組みます。

国籍を問わず参加できるイベントの開催は、外国人の社会参加に繋げるための重要な取り組みと考えます。また、市民がグローバルな感覚を養い、国際社会への一員として異文化を理解し受け入れられるよう、Bivi つくば交流サロンにて開催している「世界お茶のみ話」を継続して行い、外国人研究者や留学生が母国を紹介する国際理解講座を開催し、文化や習慣、課題などについて聴講者との活発な意見交換を促すことで、国際感覚やコミュニケーション力の向上が図れるよう努めます。

つくば市を拠点に国際交流活動を展開している団体・個人などと連携し、事業の共催または後援などにより、お互いの活動が活発になるよう取り組みます。

国と国との習慣や文化の相互理解を深めるためには、青少年期から外国との交流を体験することが有益だと考えます。平成31年度は韓国大田広域市の青少年をつくばに迎えます。

4 協会の「中期運営計画」

平成31年度は今まで調査した結果を基に、事業計画及び実施に向かいます。つくば市グローバル化基本指針を基本とし、協会として将来を見据えた活動を行うために、中長期に渡る具体的な施策の策定に向けて引き続き取り組んで参ります。

平成 31(2019)年度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)	
1	日本語 ①日本語講座 ②日本語ボランティア講師入門講座 ③こども日本語指導者研修会 ④こども日本語勉強会 <u>⑤日本語教育機関等連絡会(仮称)の開催(新規)</u>
2	医療通訳ボランティア育成・派遣
3	外国人のための相談室
4	外国人高校進学相談会
5	メディカル英会話講座
B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)	
1	つくばフェスティバル(国際交流フェア)
2	文化交流 ① 世界お茶のみ話 ② 日本・外国文化体験 ③ 世界の“うまいもん”をつくばで!
3	姉妹友好都市交流
4	英語でつくばをテーマパークにしちゃおう!
5	英語観光ガイドボランティア募集・研修
6	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
7	シティーチャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)	
1	ニーズ調査・広報(ホームページ・facebook・Link!発行)
2	賛助会員募集
3	スポンサー募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 日本語

①日本語講座

市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語(入門から初級)の修得を目的とする。講師は日本語ボランティア講師(TIVONAの会)が担当する。

クラス:昼3クラス、夜6クラス

期 間:4月～9月、10月～3月

場 所:つくばイノベーションプラザ

授業数:昼クラス 各期 16回 (1回2時間、合計 32時間)

夜クラス 各期 20回 (1回 1.5時間、合計 30時間)

定 員:各クラス 15名

②日本語ボランティア講師入門講座

日本語講座で講師をするボランティアを養成する。

回 数:年1回(5日間程度)

③こども日本語指導者研修会

外国につながる児童生徒に対する日本語教育。筑波学院大学や教育委員会と連携して、こどもに対する日本語の指導方法を検討実践する。

・体制構築:こども日本語支援協議会設置の検討(教育委員会、大学、つくば市、協会など)

・人材育成:こども日本語指導者研修会(筑波学院大学共催)

回 数:年1回(6日間程度:座学及び実習)

※研修会修了者は、ボランティア登録を行うとともに、下記④の講師として活動するほか、教育委員会の求めに応じて市内小中学校において日本語指導に協力する。

・こども日本語支援協議会(仮称)開催(市教育局、大学、協会など)(新規)

※こどもに関係する機関がどのように連携して支援を行うか意見交換し、その体制づくりを検討する。

回 数:年2回程度

④こども日本語勉強会

小中学校の長期休み(夏休み・冬休み・春休み)期間中に、日本語指導が必要な児童生徒を対象として、日本語学習を行う。

・期 間:夏休み4日間、冬休み3日間、春休み2日間

・場 所:市内3か所程度

⑤日本語教育機関等連絡会(仮称)の開催(新規)

つくば市内で日本語教育に携わる団体等が情報共有又は交換する機会を作る。

2 医療通訳ボランティア派遣・研修

市内在住外国人が安心して病院受診できるよう、患者の母語で通訳を実施した。

派 遣:随時(病院からの依頼による)

派遣先:市内3病院、市外1病院

対応言語:英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

<p>3 外国人のための相談室</p> <p>在住外国人の様々な相談を受け、その解決又は、より相応しい相談機関を案内することを目的とする。相談員は、研修会などにも参加し対応力の向上を図る。</p> <p>実施日:毎週水曜日(祝日休)</p> <p>時間:10時～13時</p> <p>言語:英語、中国語、日本語</p> <p>場所:協会事務所内</p>
<p>4 外国人高校進学相談会</p> <p>外国につながる人児童生徒及び保護者にとって、学校に関わる様々なトピック(日本語、進学など)は悩みの種となりやすい。とりわけ進学においてトラブルを抱える外国人世帯は数多い。「高校とはなにか?」「試験はどのようなシステムか?」などに関するガイダンスをおこなうことで、外国人親子のサポートを行う。情報提供等を通して外国人児童生徒のキャリア形成に関するフォローを行う。</p> <p>また、県内外支援団体との情報共有を行い知識の蓄積を図るため、研修会等へも積極的に参加する。</p> <p>回数:1回7月頃</p> <p>場所:つくば市内</p> <p>対象:市内在学外国人児童生徒及び保護者ほか</p>
<p>5 メディカル英会話講座</p> <p>外国人患者が病院受診した際、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるよう、基本的な用語・よく使われる表現などを習得することを目的として実施した。</p> <p>回数:年1回11月</p> <p>場所:つくばイノベーションプラザ</p> <p>対象:病院・クリニックの受付事務担当者、看護師、医師など医療従事者</p>

B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)

<p>1 フェスティバル</p> <p>世界の舞踊や歌の披露、料理実演販売、国際理解プログラム</p> <p>協会事業に協力いただく団体または市内活動団体を優先的に募集し、市民に対して協会事業の周知を図ることを目的とする。</p> <p>実施日:5月11日、12日</p> <p>募集团体:飲食・物販・団体紹介など25団体、ステージ10団体程度</p>
<p>2 文化交流(世界お茶のみ話、日本・外国文化体験など)</p> <p>つくばを中心に居住する外国人が、母国やその周辺で起こっていることをつくばに伝え、または課題を共有し、日本またはつくばから何ができるのかなど、講演者と聴講者との間で議論し、お互いを知り、理解し、交流する場とすることを目的に行う。その他、協会以外の国際交流グループと連携して、日本・外国文化体験講座なども行う。</p> <p>①世界お茶のみ話(講演会)</p> <p>実施日:毎月第3土曜日 15:45～17:15(予定)</p> <p>回数:年12回</p> <p>場所:Biviつくば 交流サロン</p> <p>②日本・外国文化体験</p> <p>回数:年6回程度</p> <p>場所:市内交流センター、イノベーションプラザなど</p> <p>内容:日本・外国料理、各国踊り体験、ハイキングなど</p> <p>① 世界の“うまいもん”をつくばで!</p> <p>つくば市中心地区(TXつくば駅の近く)がにぎやかになるように、外国人との文化交</p>

<p>流を図ることを目的として、ランタンアートに合わせて実施する。 期日:2019年12月15日 場所:つくばセンター広場ペDESTリアンデッキ 内容:インドネシア・セネガル・メキシコ・ベトナムの食販及びインドネシア中高生、スリランカのダンスパフォーマンス、すずらんのハンドベル、桜バンドによる演奏</p>
<p>3 姉妹友好都市交流 韓国から青少年(中学生)をつくば市に迎える。2018年度に参加した家庭にホームステイするほか、日本文化の体験を通して、日韓の相互理解を図る。 タイトル:2019日韓青少年交流事業 期日:2019年8月22日(木)~25日(日) 場所:つくば市内</p>
<p>4 英語スピーチ・プレゼンテーション大会 英語学習初心者が、留学生と交流しながら原稿を作成し、発表する事により語学に関心を持ったり、外国の文化に興味、を持ったりすることを目的として開催する。(筑波大学共催事業) 回数:年1回(11月~12月頃) 対象:市内中高生</p>
<p>5 英語観光ガイド 海外や他地域からつくばを訪問する外国人に対して、おもてなし精神を基本として観光案内ができるよう養成講座を実施した。 回数:年1回11月(入門コースおよび実践コース各1日開催)</p>
<p>6 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 市内外各種団体からの依頼に対し、通訳やホームステイ等の支援を行った。 また、市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などで開催される国際交流イベントなどに外国人を派遣した。 時期:随時</p>
<p>7 シティーチャットカフェ 英語で市内在住外国人留学生との交流を目的として開催する。筑波大学と共催 回数:10回(毎月1回開催。うち協会は3回担当) 場所:ララガーデンつくば・グローバルビレッジ</p>
<p>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)</p>
<p>1 ニーズ調査・広報 ① ニーズ調査 外国人・または日本人が、国際交流協会に何を求めているのか、協会の進むべき方向を検討する指針とするためにニーズ調査を継続して行う。 ② 広報 協会事業などの情報をホームページや facebook、Link!(機関誌)などを通じて周知する。</p>

2 賛助会員募集

協会を資金面から支援いただくために募集を行う。

個人会員 一口 2,000円／年度

団体会員 一口10,000円／年度

法人会員 一口20,000円／年度

3 スポンサー募集

協会の運営・事業への支援をいただくために募集を行う。

1 社当たり一口 300,000 円／年度

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

つくば市パスポートセンター支援のため、写真撮影、印紙・証紙、葉書、切手等の販売を行う。

営業日:月曜～金曜日(土日祝、12月29日～1月3日休み)

時間:午前8時30分～午後5時15分

基本方針

多様な国際交流や国際的な相互理解に基づく多文化共生を推進する事により、国際感覚にあふれた人材の育成と国際拠点都市つくばに相応しい世界に開かれた地域社会の創造に寄与する。

A 外国人生活支援のための活動(対象:外国人)

1 ① 日本語講座

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として実施した。日本語ボランティア講師(TIVONAの会)に教室運営をお願いした。また、日本語指導者のための研修会を行った。

【実績】

(ア) クラス:全9クラス(日本語1～3・読み書き・日本語の会)

期間:前期(4月～9月)、後期(10月～3月)

場所:つくばカピオ、つくばイノベーションプラザ

参加費:6,000円(初回)、5,000円(リピーター)

受講者数及び講師数:

	受講者	講師
前期	131名	28名
後期	89名	28名
合計	220名	56名

(イ) 日本語ボランティア講師入門講座

期日:2020年2月1日、8日、15日、~~29日、3月14日~~(コロナウイルスの影響で延期)
(全5回)

講師:川辺千恵子氏 茨城県日本語教育アドバイザー、小林和子氏(TIVONAの会会長)

対象者:日本語ボランティア未経験者及び新人ボランティアで全回参加できる人。

場所:つくばイノベーションプラザ大会議室

参加者:31名 参加費:2,500円

② こども日本語指導者研修会

【概要】

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するために、筑波学院大学との共催により、筑波学院大学コミュニティーカレッジで研修会を行った。研修者は、夏休み、冬休みなど小中学校の長期休業時に行った日本語勉強会で実習を行った。

【実績】

こども日本語指導者研修会

開催日:2019年6月9日～7月21日(うち6日間)

場所:筑波学院大学 参加者:7名

③ こども日本語勉強会 ※参加費 1回500円

(ア) 夏休みこども日本語勉強会

期日:2019年7月22日～8月29日(3地域各3回)

場所:つくばイノベーションプラザプラザ、二の宮交流センター、市民ホールやたべ

- 参加者:市内小中学校児童生徒 17 名
ボランティア:25 名
- (イ) 冬休みこども日本語勉強会
期日:2019 年 12 月 25 日、27 日(2回)
場所:つくばイノベーションプラザ
参加者:市内小中学校児童生徒5名
ボランティア:8名
- (ウ) 春休みこども日本語勉強会
プレスクール・プレクラスと同時に行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

2 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が受診する際に、医療機関の依頼にもとづいて派遣した。

【実績】

筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院ほか全 4 医療機関

派遣料 一回 3,000 円

派遣依頼数 53 回(うち実派遣数 41 件)

※派遣の増加に伴い、2019 年度から医療機関と医療通訳ボランティア派遣協定を締結し、費用の有料化を開始した。2019 年度は、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、いちほら病院および茨城県医療大学付属病院と協定締結している。

【勉強会】

英語・中国語(全9回)

3 外国人のための相談室

【概要】

つくば市に在住・在勤・在学する外国人を対象として、在留資格・婚姻・行政手続き等の相談に対して、外国人生活相談員4名(英語2名/中国語2名)を配置し、相談業務を行っている。

【実績】

開催回数 50 回 毎水曜

相談料 無料

相談者数:40 名対応(英語 33 件、中国語 3 件、日本語 4 件)

相談内容:在留資格、就労・雇用、健康・医療、法的トラブル、他

4 高校進学相談会(高校進学なんでもガイダンス!)

【概要】

外国人を対象に、高校進学に関する疑問や質問を受け付け、高校を知る機会とすることを目的として開催した。

【実績】

期日:7月13日

場所:つくばイノベーションプラザ

参加費:無料

参加者:29名、通訳6名、講師6名、スタッフ3名、見学3名

5 メディカル英会話講座

【概要】

医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・問診票の記入・医師の診察・支払いや保険の説明・次回の予約についての英語講座を行った。

【実績】

期日:11月4日(月・祝) 90分/回

場所:つくばイノベーションプラザ大会議室

参加費:1,500円(各回)

内容	受講者
① 薬の処方	29名
② 内科	28名
③ 受付	29名
④ 産婦人科	15名
合計	101名

B 文化・交流事業(対象:日本人・外国人)

1 フェスティバル事業(国際交流フェア)

【概要】

外国文化の体験(団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売)を通して、異文化の理解や交流を目的として開催した。

【実績】

期日:2019年5月11日、12日

出展者負担金 販売関係 20,000円、販売無 14,000円

テント出展:28団体

ステージ発表:11団体(下記一覧)

時間	内容	団体名
11:00-11:20	朝鮮の民族楽器演奏・踊り	茨城県朝鮮初中高級学校
11:30-11:50	フィリピンと英語の歌	Association of Filipino Scholars in Tsukuba
12:00-12:20	中央アジア・ウズベキスタン・タジキスタンの民族舞踏	GULISTON / グリスタン
12:30-12:50	セネガルの伝統太鼓であるサバールやジャンベの演奏	グループ ジャム Group Jamm
13:00-13:20	Dance performance	ブラジル人学校 INSTITUTO EDUCARE
13:30-13:50	Russian dance	Jisedai
14:00-14:20	パラグアイハーブ演奏	カスカーダ
14:30-14:50	発表	リハティ インターナショナル スクール
15:00-15:20	vietnamese traditional performance	Vietnamese Community in Tsukuba

15:30-15:50	中東アラブ地域、エジプトやトルコ発祥の楽器「ダラブッカ」ダラブッカやフィンガーシンバル(ジール)	JPC パーカッションクラブ
16:00-16:20	フラメンコ	El Aguila エル・アギラ

その他:エンジョイ・ザ・ワールド出展:日本語関係等

店名【国】	【出展内容】
筑波学院大学国際別科 &日本語教員プログラム	留学生によるゲーム、アラビア語・シンハラ語・ベトナム語・中国語などのミニ講座、留学生や日本語教員養成プログラム紹介他
筑波大学グローバルコミュニケーション 教育センター日本語教育部門	筑波大学の日本語教育の周知
日本つくば国際語学院	日本語を勉強したい外国人へ向けた日本語学校の説明・紹介
TIVONA の会	活動内容の報告と会員における似顔絵コーナーや日本のあそび
国際交流ボランティア 虹の会	活動紹介の写真展示 世界の言葉、あいさつなどの配布 等

以下についてはつくばフェスティバル実行委員会から委託
(委託料つくばフェスティバル実行委員会)

時間:午前 11 時～午後 5 時

場所:Bivi つくば

実施内容:世界お茶のみ話 in つくばフェスティバル 2019①コスタリカ(11:00)

②ニジェール(13:00)③スイス(15:00) 参加者 127 人

協力:協会イベントボランティア 1 名、つくば市 2 名、スイス大使館観光国 1 名

日時:5月 11 日 午前 11 時～午後 4 時、5月 12 日 午前 11 時～午後 4 時

場所:つくばイノベーションプラザ

実施内容:世界の衣装でフォトジェニック 民族衣装体験及びフォトスポットでの写真撮影

参加者:11 日 外国の衣装 30 人、着物体験(外国人のみ)14 人、12 日 外国の衣装 57 人、ゆかた体験(外国人のみ)9人

※外国の衣装(マレーシア、ペルー、タンザニア等 10 カ国)

協力 衣装 JICA 筑波、着物及び着付け 岩田晶子(11 日)、SWiT 世界で国際交流しよう(12 日)、筑波学院大学 フォトスポット協力 センター地区活性化協議会、筑波学院大学、朝日印刷(株)

つくばセンター特設ステージ

5 月 11 日 午後 2 時～午後 4 時 30 分

Small World in Tsukuba Showcasing World Diversity & Culture

SWiT つくばで国際交流しよう

来場者:15 万人(主催者発表)

2 文化交流

① 「～一杯のお茶から世界が見える～世界お茶のみ話」（交流会）

【概要】

「世界お茶のみ話」は、主に講演者の母国の紹介、または、外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として行った。

【実績】

期日	国	講師	参加者
2019年4月20日	マレーシア	ヨーン・ペーン	52名
2019年5月11日	コスタリカ	メナ・アーロン	43名
	ニジェール	福田英子	32名
	スイス	牧野祐子	52名
2019年6月15日	韓国	ジョン・チャンジュン	45名
2019年7月20日	スリランカ	コッタゴダゲ・ワサン・ニルマール・ペレラ	52名
2019年8月17日	アフガニスタン	駿溪トロペカイ	29名
2019年9月21日	日本	平岡拓晃	26名
2019年10月19日	リトアニア	ドルスカイテ・ギエドレ	41名
2019年11月16日	ジョージア	マリラム・ビビラシュヴィリ	50名
2019年12月21日	バングラデシュ	ソーハン・ラフマン	42名
2020年1月19日	中止		
2020年2月16日	TIS	生徒6名	55名
2020年3月21日	中止		

※9月は筑波大学のオリンピックウィークと共同開催にて行った。

※1月は講師の都合により、3月は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

場所 Bivi つくば交流サロン

参加費:無料

② 料理教室

【概要】

料理をきっかけとし、世界各国への興味の醸成を目的として開催した。

【実績】

期日	料理	参加者	メニュー
7月20日	ペルー料理	17名	ロモ・サルタード(牛肉と野菜の炒めもの)、サルサ・ア・ラ・ワンカイナ(茹で野菜のピリ辛チーズ添え)、マザモッラ・モラダ(紫コーンのデザート)

場所:並木交流センター

参加費:1,500円

③ 世界のうまいもんをつくばで

【概要】

つくば市中心地区(TX つくば駅の近く)がにぎやかになるように、外国人との文化交流を図ることを目的として、ランタンアートに合わせて実施した。

【実績】

期日:2019年12月15日

場所:つくばセンター広場ペDESTリアンデッキ

内容:インドネシア・セネガル・メキシコ・ベトナムの食販

各国のダンスパフォーマンス インドネシア中高生、スリランカダンス、すずらん

(ハンドベル)、桜バンド
来場者:1万人(主催者発表)
共催:つくばセンター地区活性化協議会

3 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

文化体験やホームステイなどを通して、未来を担う両国の青少年達が、お互いの考えや価値観を知り・理解して、将来に両国の懸け橋となることを目的に実施する予定だったが、日韓関係の悪化により韓国側からの申し出によって延期となった。

【実績】

第1回オリエンテーション

期日:2019年7月29日(月)

場所:つくばイノベーションプラザ

内容:主催者挨拶、目的、趣旨説明、スケジュール確認、ホームステイについて
韓国語講座(キム・ヨンヒ氏)、ウェルカムボード作成

4 英語でつくばをテーマパークにしちゃおう!～留学生と一緒に連想ゲーム～

(英語スピーチ・プレゼンテーション大会)

【概要】

つくばをテーマパークに見立てて、テーマをもとに留学生と一緒に考え、ペアワークとグループワーク(ブレインストーミング)をしながら、参加者みんなで楽しく話し、イベントを通して、語学や外国の文化に触れるとともに、コミュニケーションや国際理解に関心を持つことを目的として開催した。

【実績】

期日:2019年11月23日(土)、24日(日)

場所:大和リースコミュニティーステーション(筑波大学グローバルビレッジ内)

参加費:無料

対象:市内中学校 英語初心者

参加者:中高生13名、留学生12名

講師(話題提供):

つくばの自然と歴史:元地質標本館研究員 玉生志郎氏

つくばの国際化:筑波学院大学経営情報学部 准教授 亀田千里氏

柔道遺産 加納治五郎から東京オリンピック2020 筑波大学研究生 アマンダ・デレツァ氏

コメンテータ

筑波大学体育学系 教授 ランディーブ ラクワール氏

筑波大学生命環境系 助教 マシュー クリストファー ウッド氏

共催:筑波大学グローバル・commons機構、つくばグローバルアカデミックサービス株式会社

協力:City Chat Café

後援:つくば市 つくば市教育委員会

5 英語観光ガイドボランティア講座

【概要】

毎年つくば市に多数訪れる外国人のためのタウンガイドや、東京オリンピックを見据えた観光ガイドボランティアを養成するため、講座を開講した。

【実績】

期日:11月2日・入門コース、11月3日・実践コース 各1日開催
場所:つくばイノベーションプラザ 大会議室
参加費:入門コース・3,000円、実践コース・4,000円
受講者:各日25名、のべ50名

6 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介、ボランティア派遣

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与した。

【実績】

通訳:7件24名(つくばフェスティバル・5名、まつりつくば・9名、地酒紹介イベント・3名、筑波山観光ガイド・2名、国際会議ブース説明・3名、幼稚園保護者向け勉強会・1名、商工会ドイツ連携協定記念パーティー・1名)
翻訳:10件(ライフプランすこやか2019版(つくば市、英語・中国語)、地酒紹介イベント案内チラシ、市窓口案内、市幼保無償化ガイドブック、国際交流フェア出展案内、世界の医療団リーフレット(4件)、)
ホームステイ:4件8世帯(筑波大学経済・公共政策プログラム・5世帯、AFS日本協会・1世帯、筑波学院大学・1世帯、筑波大学附属病院研修生・1世帯)
文化紹介4件
吉沼小学校:国際理解教室(世界の文化紹介)(1~6年生)
荃崎第一小学校:国際理解教室(世界の文化紹介)(5年生)
二の宮保育所、放課後等デイサービスなないろ:サンタクロース派遣

7 シティーチャットカフェ

【概要】

筑波大学および協会の共催事業として毎月1回実施している。LALAガーデンつくばおよび筑波大学グローバルビレッジを会場とし、筑波大学留学生10名程度がコーディネーターとして参加、一班4・5人程度のグループに分かれ英語や日本語でフリートーキングを行っている。

【実績】

シティーチャットカフェ:毎月第三日曜日
期日:4月21日、5月19日、6月16日の計3回を、協会主催で実施した。
場所:LALAガーデンつくば及び筑波大学グローバルビレッジ
参加費:無料
参加者:各回50名程度

8 他団体との協働・連携

つくばワールドフットサル2019

【概要】

スポーツによる国際交流を図るため、つくば市他様々な団体で実行委員会を組織し実施した。協会は、イベント内の食販ブースの運営を主として実施した。協会に登録のある外国人を中心に募集し参加者を募った。

【実績】

① 実施名:つくばワールドフットサル 2019

期日:10月20日

場所:筑波大学サッカー場

参加者:315名(内外国人20数名か国61名)

② 共催事業

(ア) 夏休み知っちゃおうツアー「世界のことをもっと知っちゃおう！」

期日:2019年8月9日(金)

場所:大穂交流センター

内容:ベトナム、ミャンマー、韓国、中国の紹介、ゲーム、料理体験

共催者:つくば市社会福祉協議会

参加者:30名、留学生10名、スタッフ5名

(イ) 篆刻体験

期日:2019年9月29日(日)

場所:大和リースコミュニティーステーション(筑波大学グローバルビレッジ内)

参加費:1,000円

講師:飯田桂子氏

内容:石を削って印鑑を制作。

共催者:つくばで国際交流しよう(SWiT)

参加者:36名

(ウ) 生け花体験

期日:2019年12月15日(日)

場所:大和リースコミュニティーステーション(筑波大学グローバルビレッジ内)

参加費:1,000円

内容:お正月花を生ける。

共催者:つくばで国際交流しよう(SWiT)

参加者:22名

(エ) 箏体験

期日:2020年2月16日

場所:大和リースコミュニティーステーション(筑波大学グローバルビレッジ内)

内容:さくらを練習して合奏する。

共催者:つくばで国際交流しよう(SWiT)

参加者:22名

③ イベント出展

期日	イベント名	場所	主催
11月18日	小さな地球～国際文化博覧会～	カスミつくばセンター	SWiT
1月19日	ボランティアフェスタ	イーアスつくば	つくば市社会福祉協議会

④ その他

(ア) つくばSDGsパートナーズの認定を受けた。

認定日:2020年2月16日

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)

1 ホームページ、facebook、Link!発行・ニーズ調査

ホームページ・facebook

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

・Link!発行 年2回発行。賛助会員あて送付したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各施設に配布を依頼した。

その他、つくば市役所内で使用している職員向けイントラネットに掲載を依頼。

・ニーズ調査(座談会)

①つくば市内の企業にアプローチしたが、いずれも回答なく、インタビューが実施できなかった。

企業名 Auto liv つくば事業所(つくば市吾妻)、HATAKE COMPANY(つくば市西高野)、つくば資材(つくば市上ノ室)

②筑波学院大学留学生に、つくばで快適に生活するためにどのようなものがあると良いかについて話を聞いた。

2 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得て、安定した運営を維持する。

【実績】

個人会員:296人 319口、団体会員:1団体1口、法人会員:12人 14口

賛助会費計:928,000円

3 スポンサー募集

【概要】

協会の運営及び実施事業への支援を図る。

【実績】

2社からの支援 600,000円(消費税除く)

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

【実績】

パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影の比較

年度	10年	5年	12歳未満	写真(件)
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323

パスポート申請用印紙・証紙セットの購入数は増加している。安定的な自主財源を確保するため、パスポート申請用以外での購入についても積極的に販売した。

新型コロナウイルスの影響により3月の収入が2018年度同月比で約51%となった。